

1 本時案

(1) 本時の位置 (全時間扱い中の第 2 時)

前時… 1 日の天気の移り変わりを班ごとに予想し、温度計を設置した。

(2) 本時の主眼

1 日の天気の移り変わりがどうなっているかについて興味を持っている子どもたちが、1 日の気温の変化について、わかることをまとめるという場面で折れ線グラフを書くことを通して、1 日の気温の変化を理解することができる。

(3) 指導上の留意点

・子どもたちが下校した後の気温の変化についてもグラフに書き込み変化を学べるように、下校後の松本市の気温の変化を調べ、資料として配布する。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導 入 ／	1、前回の授業の復習と測定結果の確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 1 日の気温がどうなるかを予想した。 〇〇さん～時の気温はどうだった？ 	5	<p>「調べた気温を前回のワークシートに書き込んでいってください。」</p> <p>○前回使ったワークシートに班で測定した気温を書き込んでいく。</p>
	2、どうすれば気温の変化がわかりやすいかについて意見を出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> そのまま見てもわかるよ。 折れ線グラフにした方がパッと見てわかりやすいよ。 	5	<p>○わかりやすく変化に気づくためにはどうしたら良いかということに着目するように問いかける。</p> <p>「パッとみて気温の変化がわかるようなものってなんかないかな？」</p>
展 開 ／	3、折れ線グラフの書き方を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 前習ったからわかるよ。 縦のとこと横のところを見比べて書き込めばいいんだよね。 	3	<p>○縦軸が気温、横軸が時間であることや縦と横で交差する場所に点を記入することなどを確認する。</p>
	4、温度計の結果をもとに折れ線グラフを書く。	<ul style="list-style-type: none"> 先生測ったの!? 朝昼晩の気温の変化がわかるね。 山みたいな形になった! 夜の気温はすごい低いね。 	10	<p>○班の人と確かめ合いながらグラフを書いていくように促す。</p> <p>○夜の気温の変化の資料を配る</p> <p>「みんなが気になっていた夜の気温の変化、先生とってきたんだけど、、、」</p> <p>「グラフが書けたらグラフや資料からわかることを話し合ってね。」</p>
終 末	5、1 日の気温の変化についてわかることを考えたことを班でまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの班はちゃんと山になったよ。 折れ線グラフが山みたいな形になるって予想したのに平らになったのはなんでだろう。 夜がこんなに寒いのは季節が関係してるのかな。 	10	<p>○前回の授業で行った自分たちの班の予想とも比較して考えてみるように促す。</p> <p>○折れ線グラフが書けていたらタブレットで撮影しておく。</p>
	6、班ごとにわかったことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> お昼になると少し気温が高くなる 山みたいな形なると思ったのに平らになったのは天気が関係しているかもしれない。 	7	<p>○どうしてそう考えたかわかりやすいように、発表する際には、発表する班が書いた折れ線グラフをテレビに提示する。</p>

	7、振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予想と違う結果になってどうしてだろうかと思った。 ・ 他の班と気温が全然違くなったりしたので記録をもっとしっかりしようと思った。 ・ 月曜と火曜は両方とも雨や曇りだったので、今度は晴れの日もやってみたい。 	5	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>評価：1日の気温の変化の仕方を理解することができる。</p> <p>評価方法：発表、つぶやき、ワークシート</p> </div>
--	--------	--	---	--